



おおき よしまさ 議員
大木 義正

自主財源の強化が重要

28年度は37.4パーセントを見込んでいる

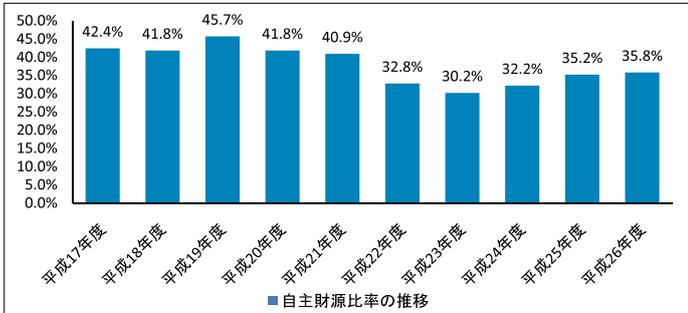
健康のまちづくりについて

自主財源について

大木 第6次矢吹町まちづくり総合計画を推進し、将来に向けての財政基盤をしっかりと構築していくためにも町税をはじめとする自主財源の強化が重要であると思うが、今後の推移と取り組みをどう進めていくのか伺う。

町長 28年度は自主財源比率37.4%を見込んでいる。平成26年度決算の市町村平均32.5%、町村平均24.9%と比較しても高い数値を示している。

自主財源が増えた主な要因、復旧復興需要による企業業績の改善に伴う



所得の伸び、震災後の新築住宅の増加で固定資産税の伸びが増収に挙げられる。

子育て支援について

大木 働く環境の変化や、核家族化等により、子どもを定時に迎えに行けない親や、休日、祝日も休めなかったり、一時的に子どもを預かってほしいという場合に対応

できる施設の整備を今後検討すべきと思うが考えを伺う。

町長 子育て支援策として、一時保育機能を持つ施設整備についても、関係機関と検討していく。



検診風景

大木 病気や介護の予防や健康寿命を伸ばすために、町としてどのような政策を実施していくのか。

また多くの町民に感心を持って頂いて、できるだけ多くの町民に参加してもらうための呼びかけをどのように工夫していくのか伺う。

町長 町民検診、特定健診等の実施、病気の早期発見・早期治療が大変重要である。受診率向上にむけて、人間ドック、ペットがん検診等の実施、未受診者対策として、21名の保健事業訪問員による全戸訪問を行い受診率向上に取り組む。



ヘルスアップ事業

町政を問う(一般質問)